

良寛月見坂

本覚院下の旧西参道にある丘。

五合庵を訪ねた亀田鵬斎に酒をもてなそうとして山を下った良寛が、いつまで待っていても戻らないので、待ちあぐねて鵬斎がここまできると、良寛が月の美しさに見とれていたという。

鵬斎もまた共に飽くことなく明月を賞でていたと伝えられている。